

山の子だより



秋田県立比内支援学校かづの校

学校報 No.2 令和6年 3月6日 発行
〒018-5201 鹿角市花輪字案内2
TEL 0186-22-0253 FAX 0186-30-1245
HP <http://www.hinai-s-kazuno.akita-pref.ed.jp>
MAIL : kazuno-s@akita-pref.ed.jp

地域を支え 支えられ 共に歩む かづの校



「地域を笑顔と元気に・・・そこから培われる本物の力」



副校長 村松 勝信

例年ない暖かい冬で、楽しみにしていたスキー授業が残念ながらすべて中止となってしまいました。かづの校開校以来初めての出来事です。しかし一方で、例年よりも早い春の訪れに、いつもより得をした気分にもなります。

さて、本校では、目指す学校像の一つに「地域を笑顔にする学校」を掲げています。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったことを機に、これまでの地域や学校等との交流活動に、さらに創意工夫をこらしながら地域での学習を展開してきました。

小学部では、地域の自治会館の清掃を行いました。日頃から行っている掃除機、モップやぞうきん掛けを生かし、利用している地域の方々からたくさんの感謝の言葉をいただきました。

中学部では、地域の保育園児を笑顔と元気にするために、アイデアを出し合いながらゲームコーナーを用意しました。生徒たちは、お兄さんやお姉さんの温かいまなざしと見守りで、園児たちからたくさんの笑顔を引き出していました。

高等部では、園児や小学校児童を対象に、交通安全やいじめをテーマとした「リンゴレンジャー」の公演を行いました。会場の園児や児童からはリンゴレンジャーを応援する歓声とともに、「楽しかった」「かっこよかった」「いじめは、絶対してはいけないと思った」などの感想が寄せられました。高等部生全員で、リンゴレンジャーや悪役、そして音響など、持てる力を結集し園児や児童を笑顔にするともに、大切なメッセージを届けることができました。

この一年児童生徒は、地域で数多くの笑顔と元気に出会いました。卒業生がリーダーシップを発揮して実施した地域を笑顔と元気にする活動から、児童生徒一人一人が地域の一員として生きていく自信と確かな力を身に付けたと思います。小学部、中学部、高等部を御卒業される皆さんに感謝いたしますとともに、御卒業を心よりお祝い申し上げます。今後も、地域の温かい人たちに見守られ、地域とともに育つ機会を大切に、小学部、中学部、高等部の児童生徒一人一人の生きる力と本物の力を育み、自立と社会参加につながる教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

卒業生紹介

3月6日(水)、小学部3名、中学部5名、高等部13名、計21名の児童生徒が卒業します。たくさんの思い出を胸に学び舎を巣立つ卒業生が選んだ思い出Best 3!を紹介します。

《小学部》

1位 修学旅行



2位 鹿りん祭



3位 運動会



《中学部》

1位 鹿りん祭



2位 部活動



3位 スキー授業



《高等部》

1位 修学旅行



2位 運動会



3位 リンゴレンジャー



はなむけの言葉

小学部

「御卒業おめでとうございます」

小学部2組担任 丸山 純平

広翔さん、照一郎さん、悠翔さん、御卒業おめでとうございます。皆さんと一緒にこの節目を迎えることができ、本当に嬉しく思います。また保護者の皆様並びに東山学園、関係機関の皆様からは、教育活動へのたくさんの御協力をいただきました。御家庭や施設での温かな支援が彼らが学び、成長する力となりました。彼らの笑顔や努力を見守りながら、共に歩んでいただき、心より感謝申し上げます。

これからも、彼らが新しいステージでたくさんのことを経験し、大きく成長することができるよう、温かい支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、広翔さん、照一郎さん、悠翔さんの未来がますます素晴らしいものとなることを心より願っております。



中学部

「七転八起～自信をもって旅立とう!～」

中学部3年担任 千葉 麻依

和奏さん、羅生さん、斗哉さん、優麻さん、紗耶加さん、御卒業おめでとうございます。

今年度は中学部の最高学年として、様々な場面で頼られることの多い一年でした。苦手な人前での発表や先輩らしい率先した行動を求められる度に、くじけそうになりながらも何度も立ち上がる姿は、学級目標である「七転八起」の姿そのもので、本当に頼もしかったです。5人で助け合いながら、そして楽しみながら学習に向かうみんなから、いつも元気をもらっていました。本当にありがとうございました。

いよいよ卒業です。これからもわくわく・ドキドキするような出来事がたくさん待っています。中学部で身に付けた力を自信に変え、将来に向かってさらに大きく成長していくことを願っています。



高等部

「思いやりを大切に」

高等部3年担任 増田 裕佳

皆さん、御卒業おめでとうございます。

高等部三年間、たくさんのことに挑戦して、時には失敗も経験した皆さん全員が、大きく成長しました。13人、本当に頑張りましたね。

困っている仲間がいたら、声を掛け、助けてあげることができる、頑張っている仲間がいたら、応援してあげることができる、思いやりあふれる素敵な学級でした。

春からは、それぞれ自分が選んだ新たな道に進みます。卒業しても、相手への思いやりを大切に、過ごしてください。そして、これからもたくさん失敗してたくさん挑戦してください。そうやって人は成長していきます。皆さんは一人ではなく、家族、かつの校の先生、友達、みんながあなたの味方です。これからも皆さんを心から応援しています。



学習の取り組み

小学部



今年度の小学部は9人!1年生が3名も仲間入りして、パワー全開。6年生がリーダーでいろいろな学習を進めてくれました。



ネオホッケー部

7月に比内カップ交流大会、9月に特別支援学校総合体育大会を行いました。全員が一つの目標に向かい、ネオホッケーの技術や体力を向上させ、試合に向けて活動しています。



文化部

今年度は、部員の希望をもとに、美術、音楽、調理など幅広く活動しました。

美術作品には、部員一人ひとりの感性が素直に表現されていました。



中学部

10月には、地域の3社から委託作業の協力を得て、後期実習を行いました。一人一人が得意な仕事を知り、自分と向き合う充実した実習となりました。



総合的な学習の時間に、地域を知る学習に取り組みました。今年度は、花輪・尾去沢地区に出掛け、よいところやすごいところをたくさん発見しました。



部活紹介

高等部

十和田・小坂高校と、統合前最後の交流をしています。スポーツや物づくりを通じて楽しみました。



記念すべき10年目、尾去沢・大湯小学校でリンゴレンジャー2days公演を行いました。これで鹿角地域全ての小学校での開催を達成です。これからも鹿角の平和を守るために頑張ります!



卓球部

夏休みの障害者スポーツ大会、2月の校内卓球大会にむけて日々の練習を頑張りました。毎回の練習の際、部員同士でアドバイスをしたり、励まし合ったりしながら着実に力をつけることができました。



表彰



第22回秋田県特別支援学校総合体育大会において、ネオホッケー競技で優勝、ポッチャ競技で3位という成績を修めました。